

採用の流れなど

— 西海協 —

オンライン併用

外国人技能実習生・特定
技能外国人の監理団体であ
る西海協（池田純爾理事

長）は9月18日、福岡市で物流企業を対象に説明会を開いた。対面に加えて、初めてオンラインでの視聴を可能とした。今後も各地でハイブリッド型の説明会を行う。

テーマは「外国人特定技能トラックドライバー・物流倉庫業務」。技能実習制度と特定技能制度などの在留資格の違い、特定技能外国人（操縦士）の要件、受け入れ企業の要件、採用の流れなどを解説した。

また、6カ月の特定活動期間を、倉庫業1年または自動車整備業1～3年の技能実習期間に置き換える採用方法を紹介。免許取得期間も現場戦力として活躍でき、レベルの底上げ、ミスマッチ防止、企業マインド育成も期待できるメリットと、ドライバー業務に従事するまでの期間が長期化するデメリットを示した。

質疑応答では、「最短で実務に就けるのはいつか」「ドライバー希望者は多いか」「日本で他職種で働いていて、ドライバーになりたい人はいるか」といった質問があった。

（高松美希）